

**飛騨高山もりのエコハウス推進協議会**  
**第2回運営委員会 記録**

■日 時：平成21年12月4日（金） 17:00～18:30

■場 所：高山市役所 地下1階 001会議室

■次 第：

1. 開会
2. あいさつ
3. 議事
  - (1) 普及講演会の参加者数 等
  - (2) 建設後の管理運営・エコハウスの利用方法
  - (3) エコハウスの解説映像シナリオ
  - (4) 技術解説パネル（CASBEE評価結果）
  - (5) その他（技術研修会の開催概要）
4. 閉会

■議事内容

**(1) 普及講演会の参加者数 等**

【参加者数・案内予定】

- ・ 12/4 13:30 現在、約180名の参加希望者を把握済み。
- ・ 今後、庁内の関係各部長を通じて参加を依頼（動員は行わない）を行う他、各運営委員からの案内も継続し、目標の250名を確保したい。

【講演会当日の役割分担】

- ・ 事務局案を承認（今後、担当者の確定作業を進める）。

**(2) 建設後の管理運営・エコハウスの利用方法**

- ・ 施設の使用料は、実費徴収が前提。
- ・ 市は、施設の維持・管理について委託内容（委託項目別コストは要検討、市は現時点で施設の維持費用の支出を予定していない）を整理し、指定管理者に業務委託（委託業務費による赤字補填）できないか、庁内及び環境省と調整する。

【市の調整事項】

- ・ モデルハウスの試験実証施設としての財産区分
- ・ 指定管理者への委託業務を発注する場合の地方自治法との整合
- ・ モデルハウスに当初導入した設備等の時間的な経過に伴う技術進捗との格差是正措置の可否
- ・ モデルハウスにおける指定管理者を通じた木造住宅の営業活動の可否

【その他】

- ・ 第2回協議会では、運営委員長がエコハウスの管理・運営方針及び課題を報告する。

- ・ 上記の調整において、次年度以降、環境省の補助がない場合の対応は、今後、検討する。

### (3) エコハウス解説映像シナリオ

- ・ オープニングで高山の気候風土(=夏冬や1日の寒暖差、多雪・寒冷地等の中央内陸型気候)、森林が多いことなどの説明を追加する。
- ・ モデルハウス建設予定地が観光地にあり施設来訪者が市内外に及ぶことを紹介する。

### (4) 技術解説パネル

#### 【ロゴ】

- ・ 解説パネルと住民向けパンフレット、講演会の看板等にデザイン面での使用を前提として使用する(本事業では、今後のエコハウス普及を営業ベースで検討する場合のロゴとしての使用は想定しない)。
- ・ パネル案の枠や図柄に上段「飛騨高山」、下段「森のエコハウス」と並列表記しレイアウトする。
- ・ 協議会の名称とロゴの整合を図る必要はない。

#### 【講演会の展示パネル(エコハウスのコンセプト)】

- ・ 全体にやわらかい表現で、文章は少なくするよう、事務局責任で校正する。
- ・ 掲載する図面は、建築確認に使用した内容で表示する。

#### 【他のパネル(市役所ホール展示用)】

- ・ 1/18からの市役所1階ホールでの展示パネルの内容は、第2回協議会に諮った後、校正は運営委員会で検討する。

### (5) その他

#### 【技術研修会の開催概要】

- ・ 概要は了承、運営委員会の各委員から関係者の受講案内を進める。

#### 【CASBEE評価】

- ・ エコハウスの普及にあたり、住宅性能評価をベースとするCASBEE評価の手法を設計者等が理解していることは、大手住宅メーカーが高性能の住宅開発を進める中で、最低限必要となり、技術講習会でもその重要性は講義する。
- ・ モデルハウスの断熱外皮計画は高い水準にないが、ペアガラスの厚さや、断熱材の各仕様変更など、その性能向上は数十万円のイニシャルコスト増で図られること、この他にCASBEE評価の向上には、浴室の手すり設置や車イス対応の開口部など、ちょっとした設計時の配慮が求められることも留意すべきである。

#### 【エコハウスの工事】

- ・ 12/16に開札、12/22に契約の予定。
- ・ 通し柱(長さ9m)の確保は工事施工者決定後になるが、準備が滞る場合は、工事施工者から市に相談を受けた場合に対応を協議する。
- ・ 建設予定地の地元説明会は、工事施工者が独自に行う挨拶以外に、市として事業の事前説明を行うこととし、今後、事務局で日程を調整する。

以上